

# 鴻池荘 通所リハだより

令和4年  
6月号

「離床できない」  
への対応

## 専門的評価をもとに退院後支援

血圧の変動により、通所系サービスの利用を控えている利用者を時折経験します。

血圧が変動し意識状態が不安定になることが続くと、ご家族の不安も強く、臥床傾向から、廃用が進行する可能性も高くなっていきます。今回は通所リハおける専門的な評価の中で、可能性を探る支援について紹介します。



## 自宅での課題

脊椎炎による安静により、両下肢の機能低下、感覚鈍麻に加え、起立性低血圧、全身持久力の低下を認める状態となった。自宅での介護を希望され退院するも、介助量が多く、ベッド中心の生活となる。一度自宅で離床を試みられるも、膝折れによる転倒リスクに加え、起立性低血圧による意識消失を認めた事から、車椅子離床に対して不安に感じられ、介護負担感と対応方法に戸惑いを認めていた。

## 本人の希望

『以前のように畑に行きたい』と希望があったが、起立性低血圧を認めていた為、まずは安全な離床時間の確保と座位時間の拡大を図った。

加えて、1人での移乗介助量の軽減・自立度向上を目的に下肢筋力訓練と感覚入力の向上を行った。また、介助機器を使用しての移乗方法の検討を行った。

## 介入後の様子

起立性低血圧は安静による廃用進行が原因であり、状態確認を行い、離床頻度を増やす事で改善した。移乗については下肢筋力の向上と、感覚の改善を認め、介助方法を伝達する事で移乗時の転倒リスクの減少や介助に対する不安の減少に繋がり、自宅での離床頻度増加を認めた。

現在は本人が希望する畑での作業には至っていないが、ご家族様と屋外散歩や外食など活動範囲の拡大を認めています。更なる能力の向上を目的に歩行訓練を実施しています。



## 言語聴覚士(聴く・話す・食べる支援)

聴こえにくさがある方はご相談ください



- 最近テレビの音が聴こえにくくなった
- 聴こえにくくなって話すのが億劫になってきた
- 聞き返す事が増えた等々

例えば・・・

- ▶聴こえやすさに左右差がある。
- ▶耳元で話しかけると聴きとりやすい

必要に応じて耳鼻科受診の推奨や補聴器に関する相談にお応えします

コミュニケーションがとりやすくなるように聴き方や伝え方のポイントを伝達しています

## 作品紹介 『進級祝い』



保育園の園児に進級祝いとして、すみっくぐらしの編みぐるみを作成しました。後日、園児にお渡しし、お礼としてチューリップの歌を歌って頂きました。



介護老人保健施設鴻池荘  
受付時間 9:00~17:00

TEL 0745(64)2180  
FAX 0745(62)1092  
担当者：相談員